

いすゞ自動車株式会社に対する「Mizuho Eco Finance」の実行について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、いすゞ自動車株式会社（代表取締役 取締役社長 COO：南 真介、以下「いすゞ自動車」）との間で、このたび、シンジケーション方式による「Mizuho Eco Finance」（※1、以下「本商品」）のアレンジャーに就任し、契約を締結しました。なお、本日、相対方式の「Mizuho Eco Finance」も実行しています。

〈みずほ〉は、お客さまとの積極的な対話（エンゲージメント）を通じて課題やニーズを深く理解し、お客さまのSDGs・ESGへの取り組みやイノベーションをサポートするため、多様なソリューションの提供に積極的に取り組んでいます。

本商品は、脱炭素社会への移行に向けて、お客さまとともに取り組みを促進していくことを目的に、グローバルに信頼性の高い環境認定や評価等を組み入れた、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社が開発した環境評価モデルを用いて、お客さまの取り組みや指数をスコアリングし、一定のスコア以上を満たしたお客さまに対し融資を行う環境評価融資商品です。

なお、評価手法を含む本商品のフレームワークについては、株式会社日本格付研究所（JCR）から環境省の「インパクトファイナンスの基本的考え方」に整合する旨の意見書を取得しています（※2）。

気候変動への対応の重要性が高まるなか、本商品をシンジケーション方式で組成することで、当該取り組みに賛同する参加金融機関とともに、いすゞ自動車の気候変動への取り組みをファイナンス面から支援します。

〈みずほ〉は、いすゞ自動車がSBTコミット表明を行い2030年までにCO2排出量（Scope1+Scope2）を2013年度比で50%削減するというSBTに準ずる目標を設定していること、温室効果ガスに関する環境長期ビジョンを掲げていること、サプライチェーン全体の温室効果ガス排出量を適切に開示していること等、評価モデルに使用している指標において高い水準で満たしていることを評価しています。

〈みずほ〉は、気候変動対応や脱炭素社会への移行等、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。環境・社会課題解決に向けた資金の流れを創出するサステナブルファイナンスや金融を超える知見・機能を活用したソリューション提供を通じ、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に向けて、お客さまとともに挑戦していきます。

＜案件の概要＞

融 資 先：いすゞ自動車

アレンジャー行：みずほ銀行

貸 付 人：国内金融機関

契 約 締 結 日：2024年10月29日

※1：「Mizuho Eco Finance」

2019年6月28日付ニュースリリース「『Mizuho Eco Finance』の取扱開始について」

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20190628release_jp.pdf

※2：株式会社日本格付研究所のウェブサイト

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以 上